

2023年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

持続可能な農業への貢献

減農薬・減肥料・省人省力化の推進

原料てん菜や野菜栽培の減農薬・減肥料・省人省力化に繋がるてん菜品種や栽培技術の導入を推進します

①てん菜種子の品種開発による農業の省人省力・省作業化

◆主な取り組み

- ・労働時間短縮に寄与する除草剤耐性品種の導入
- ・褐斑病抵抗性品種の優良品種登録の推進

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
化学肥料施用量削減率10%（2016年度比） 農薬使用量削減率10%（2019年度比） 耕起・防除・除草に関わる 投下労働時間削減率20%（2019年度比） 栽培における炭酸ガス 直接排出量削減率5%（2019年度比）	各項目2%削減	各項目2%削減	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い

②農業資機材の普及による野菜栽培の省人省力・省作業化

◆主な取り組み

- ・トラクタ装着型の ひっぱりくん® の拡販により、苗や球根の植付労力を削減
白ネギ：7割削減(簡易移植機 ひっぱりくん® 比)
らっきょう：6割削減(慣行植付比)

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
トラクタ装着型の ひっぱりくん® 販売目標 100台（累計600台）	販売目標40台	販売実績36台(累計106台)	△
ビート移植機を応用した野菜作への紙筒利用 (チコリ以外も展開)	試験利用	試験実施（ベルギー）	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い

有機農業への貢献

有機農業を視野に入れた製品群・栽培方法を開発し、対応する商品や栽培方法の国内外への普及を図ります

◆主な取り組み

- ・「ニッテン液肥GB」の新用途開発、販売先・販売ルートの拡大、その他有機資材対応商品の開発販売
- ・「チェーンポット」等 有機対応紙筒の欧州の企業との共同開発、有機認証の取得
- ・海外向けHP開設・活用による知名度向上

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
「ニッテン液肥GB」の国内外販売数量： 500t	38 t	22.5 t	△
「チェーンポット」等の欧州・米国における 有機認証取得、拡販・普及	米国・欧州の有機認証取得 海外向けHP開設	米国にて有機認証を取得 海外向けHP開設(2023.3)	△

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い

牛の長命連産への貢献

牛の健康に良い飼料を開発・製造し、牛の長命連産を可能にする飼料の開発に取り組みます

◆主な取り組み

- ・新製品開発
- ・開発研究成果を公表(学会発表/特許取得等)

◆2030年度目標	◆2023年度目標	◆2023年度実績	◆達成状況
4製品以上の上市 (2023年度～2030年度)	2022年度にリリースした 2製品の拡販 (和牛のミカタ・スタート18)	左記2製品の拡販 (1製品上市<ヘルスメル>)	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い